

Fujitsu デジタルレジリエンス サービス

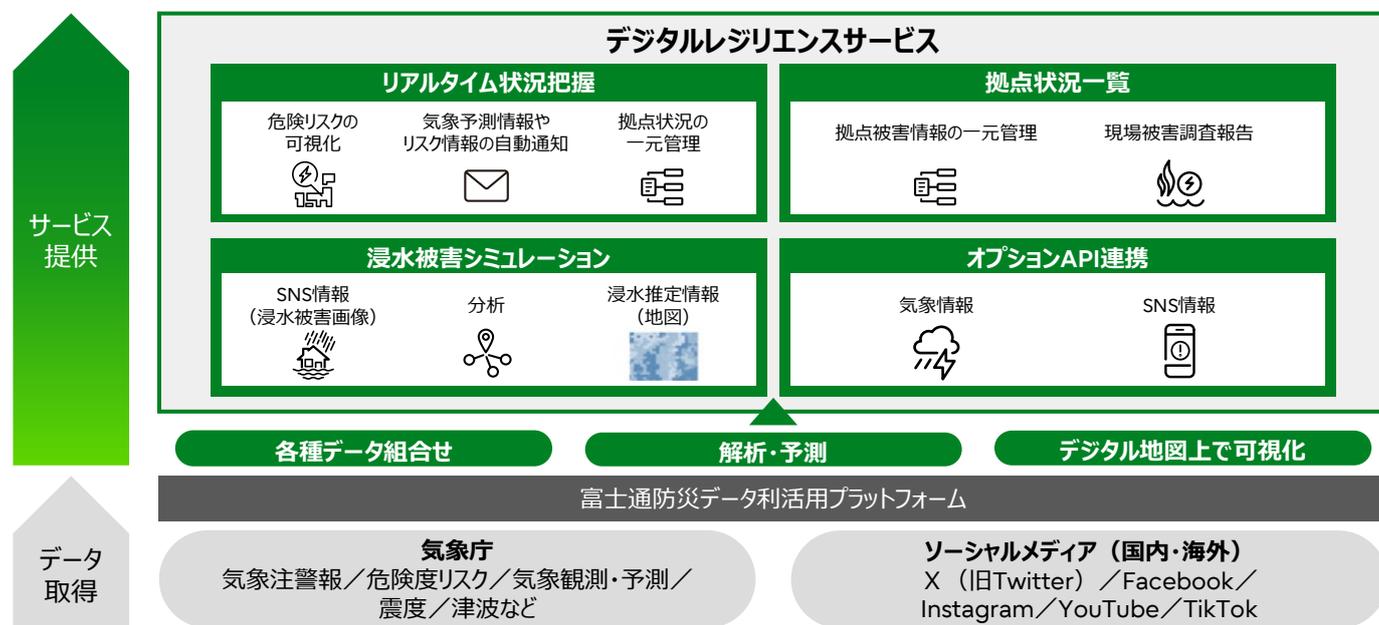
平時の「いつも」と災害時の「もしも」
レジリエンスを加速させる『フェーズフリー』視点のサービス
お客様の拠点やアセットや気象情報、SNS情報などの
様々なデータを組み合わせて、あらゆるリスク情報を
可視化し災害対応業務や業務継続を支援します。



あらゆるリスク情報を可視化するデジタルレジリエンスサービス

近年、気候変動による台風の長期化や線状降水帯等による局地的豪雨など自然災害の激甚化・多様化が進んでおります。従業員の安全を守り、事業継続性を高めるために、迅速で正確なリスク情報を把握することが大きな課題となっています。

今ここで何が起きているかをリアルタイムにデジタル地図（GIS）上に可視化することで、平時は気象情報やSNSに投稿される事件・事故といった拠点周辺の状況を把握が可能となります。災害時にはリスク管理をはじめ被害状況の報告集約や業務継続の判断など、迅速な状況把握と対策の検討に自治体や企業の業務DX推進及び危機管理業務に活用頂けます。



サービスの特長

リアルタイムで情報を地図上に可視化

気象情報とSNS情報をリアルタイムに地図上に可視化

登録拠点ごとのリスク情報を可視化

被災リスクが高い拠点・アセットを抽出可能

各拠点からの報告内容を集約

各拠点・アセットの報告内容を一元管理

危険度リスクの予測情報を表示

災害発生前に各拠点への対応指示を検討可能

サービスメニュー

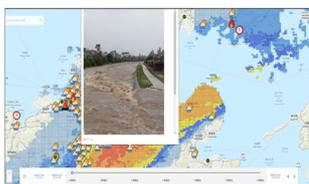
リアルタイム状況把握

● 気象・危険度情報

お客様の拠点・アセット情報に加え、気象情報（気象注警報、台風、震度、津波情報、土砂災害警戒、気象観測・予報等）および危険度リスク情報（降雨量・浸水・洪水・土砂災害危険度）を地図上へマッピング

● 国内や海外を対象にしたSNS投稿情報

AI画像解析・事象検出技術を活用し地図上へマッピングします。平時は気象情報や事件・事故など拠点周辺の状況を把握できます。災害時にはリスク管理、被害状況の報告集約、業務継続の判断など、迅速な状況把握と対策の検討が可能になります。



画面イメージ

拠点状況一覧

- 拠点、施設等の基礎情報を事前登録、各拠点のリスク情報をエリアごとに把握
- モバイル端末による現場からの報告を、地図上にマッピングし一元的に可視化
- 警報種別、震度などリスクの種別／レベルで対象となる拠点の抽出が可能



画面イメージ

主な機能

拠点表示機能	登録拠点の位置情報を地図上にアイコン表示 現場報告状況や危険度リスク発生時に地図上のアイコン表示が変化
現場報告機能	各拠点から現場の状況を登録 報告様式は、お客様操作で確認事項や選択形式の回答を自由設定できる機能を提供
タイムスライダー機能	地図上に天気、気温、降水量、降雪量、風速等の天気予報・観測情報をメッシュ表示し、手動・時間経過で変化の様子を確認可能
アラート通知機能	地震、風速、降水量、危険度分布（土砂災害、浸水害、洪水害）を対象。しきい値を超えた拠点を管理する対象者へ自動でメール通知し、報告指示の漏れ・未然の対策措置を支援
災害管理機能	長時間・繰り返し被害が発生する災害の被災状況や現場情報を災害名ごとに紐づけて報告・管理
訓練モード機能	過去に発生した災害時の気象データ、当時のSNS投稿情報を用いた訓練環境・シナリオの提供
浸水被害シミュレーション機能 （オプション）	SNS投稿画像と地形、降水量等から浸水エリア・浸水深を解析し、リスク発生推定として浸水推定情報を地図上に可視化

マルチデバイス対応

スマートフォン・タブレット等のデバイス画面に合わせて表示

API連携（オプション）

保有する気象情報、SNS情報はAPI連携によりデータ提供し、顧客システムやWeb地図等で活用可能

セキュリティ強化

多要素認証対応でログイン時のセキュリティ強化

富士通株式会社

お問合せ先：富士通コンタクトライン 0120-933-200

受付時間 9:00~12:00および13:00~17:30（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

<https://www.fujitsu.com/jp/products/network/managed-services-network/resilience/digital-resilience-service/>

2024年2月 第1版